

●鷺飲夜おたす券がつかないだ絆！●

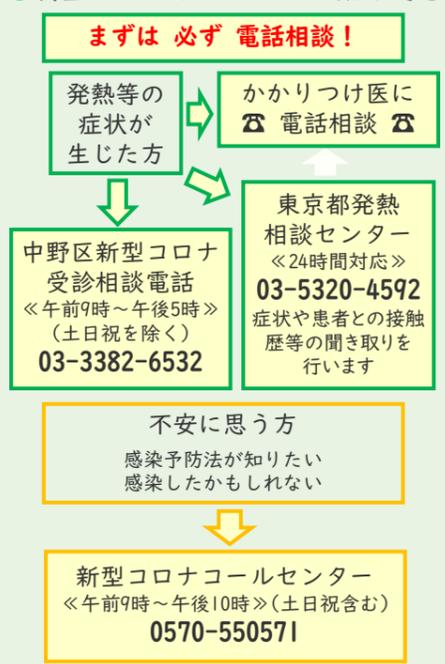


さぎめしマップ

https://saginomiya-map.com

新型コロナウイルス流行が収束した後に使えるごひいき飲食店応援チケット『鷺飲夜(さぎのみや)おたす券』の販売が4月からスタートし、これを見つけた地域の専門学生が、何か力になりたいと鷺宮商明会に申し出、そこから完成したのがTake Out情報サイト「さぎめしマップ」！ぜひみなさんご利用ください！

●新型コロナウイルスが心配な時●



●当たり前普通の日々に感謝！●

学校で授業が受けられ、友達と遊び給食を一緒に食べる事が、どんなに有難いことかと改めて気づかされた。

●逆境も良い思い出のリレーに！●

新型コロナで登校出来なくなった子ども時代を、親子共にストレスを抱えた時があった事を、大人になったら子どもに話してあげると言っている子どもの目は前向きに輝いています。

●お父さんとの触れ合い●

在宅ワークが多くなり、父親の仕事をしている背中姿を見て子ども達は自発的に勉強、一緒にサッカーをしたりキャッチボールをしたり、父親とのコミュニケーションも増え父親と向き合う時間が増えた。

PTAの方のコメントより

●困った時こそ助け合い！●

都立家政商店街振興組合ではマスク不足で大変だった時組合員の各商店へマスクを配布その次に来たアルコール除菌液不足の時も商店街の強みを生かして調達

地域でのウイルス拡散予防に取り組んでくれました感謝！



大切な人のために、一人ひとりができること

新しい生活様式

- 2m空ける
- 外出時にマスク着用
- 帰宅時に必ず手洗い
- 時差通勤 混雑回避

●私の生きていく場所●

今、私たちができること
 ソーシャルディスタンスを保つこと
 一人ひとりの衛生管理を徹底すること
 そして、不安な気持ちを少しでも癒し和らげることが出来る
 そんな仲間のつながりを広げたいと思う
 「新型コロナウイルスは巧妙なウイルスだ。こんなウイルスは他に思いつかない。感染の広がりやすさに長けている。」
 現場の支援活動で指揮をとる感染症専門医の言葉からは誰でもが感染する可能性があると感じる
 もしも私が感染してしまったら・・・
 体の変調、不安、絶望、家族や関係者への申し訳なさで立ち上がれない
 唯一接してくれるお医者さんに、生きたいと願いたただき助けをこうだろう
 もしも私が退院できたなら・・・
 感染前とは違う精神と体なのかもしれない
 もう人には移さないとわかっていても人に会うのは怖い
 拒絶され無視されるのはもっと怖い
 ゆっくりゆっくり顔を挙げて「ただいま」と声を出せるまで
 どうか遠くから見ていてほしい
 この街は私の生きていく場所だから



日赤 鷺宮分団
ビニールエプロンを作り医療機関へ届けました



手作りマスクで
献血活動の応援

中野区赤十字奉仕団鷺宮分団 分団長 加藤 英子

令和2年(2020年)

12 / 10

臨時号

題字：長谷川 昂氏

鷺宮

さぎのみや

宮

《鷺宮地域ニュース 編集・発行》 鷺宮区民活動センター運営委員会

〒165-0032 中野区鷺宮3-22-5 電話：03-3330-4127 FAX：03-3330-4131
E-mail:nakano_saginomiya@nifty.com http://www.nakano-saginomiya.gr.jp



新型コロナウイルスと鷺宮地域の2020年



コロナに負けず元気に開催！

9月27日に開催された西中野小学校の運動会

新型コロナウイルス感染防止対策のため、1・2年生の「低学年の部」、3・4年生の「中学年の部」、5・6年生の「高学年の部」と3ブロック完全入れ替え制での開催でした。

「心はひとつ Go! Go! 全力 運動会」とスローガンを掲げ子どもたちも先生たちも全員で創立55周年記念Tシャツを着て元気いっぱい、運動会ができる喜びをかみしめていました。

